

JABEE創立25周年記念大会

2024.06.05.

日本の建築(家)教育の国際化 についての私見

建築分野

田崎 祐生

(武庫川女子大学建築学部／大学院建築学研究科)

日本の建築士制度

建築士受験の学歴要件

全国建築系大学教育連絡協議会

大学：192校、短大：3校、
厚労省所管大学校など：4校、
工業高専：3校、専門学校：17校

(2022年度)

建築士受験の登録科目を開講している

学校など790校 (募集停止分を含む)

日本の建築士制度

一級建築士と二級建築士・木造建築士
(373,490人) (771,246人・18,133人)

(2019年度累計登録数)

architect ≡ 一級建築士

building engineer ≡ 二級建築士
木造建築士？

日本の建築士の業務内容

建築士の種類別の業務範囲

延べ面積 S (㎡)	木造			木造以外		全ての構造
	高さ ≤ 13m かつ 軒高 ≤ 9m			高さ ≤ 13m かつ 軒高 ≤ 9m		高さ > 13m 又は 軒高 > 9m
	階数 1	階数 2	階数 3 以上	階数 2 以下	階数 3 以上	
S ≤ 30	A		C	A		D
30 < S ≤ 100	A			A		
100 < S ≤ 300	B			A		
300 < S ≤ 500	C			D		
500 < S ≤ 1000	一般	C			D	
	特定*	D				
1000 < S	一般	C		D		
	特定*	D				

A：だれでもできる

B：一級建築士、二級建築士、木造建築士でなければならない

C：一級建築士又は二級建築士でなければならない

D：一級建築士でなければならない

建築技術教育普及センターHP

「建築士の種類別の業務範囲」

より引用

日本の建築士試験の科目

建築技術教育普及センターHP

「資格試験」建築士

／一級建築士試験、二級建築士試験 より引用

試験の種類	試験の区分	出題形式	出題科目	出題数	試験時間
一級建築士試験	学科の試験	四肢択一式	学科I (計画)	20問	計2時間
			学科II (環境・設備)	20問	
			学科III (法規)	30問	1時間45分
			学科IV (構造)	30問	計2時間45分
			学科V (施工)	25問	
	設計製図の試験	あらかじめ公表する課題の建築物についての設計図書の作成	設計製図	1課題	6時間30分

試験の種類	試験の区分	出題形式	出題科目	出題数	試験時間
二級建築士試験	学科の試験	五肢択一式	学科I (建築計画)	25問	計3時間
			学科II (建築法規)	25問	
			学科III (建築構造)	25問	計3時間
			学科IV (建築施工)	25問	
	設計製図の試験	あらかじめ公表する課題の建築物についての設計図書の作成	設計製図	1課題	5時間

一級建築士と二級建築士などの業務内容、試験内容ともに、レベルの違いにすぎない。

日本の建築士と外国のarchitect

architect ≡ 一級建築士、管理建築士？

architect ≡ JIAの建築家資格制度による
登録建築家、
建築士会連合会の
統括設計専攻建築士

建築分野のJABEE認定プログラム数

エンジニアリング系プログラム

(建築学および建築学関連分) : 29(46)プログラム

建築系学士修士課程(建築設計・計画系分野)

: 5(6)プログラム

日本の建築士制度

architect と building engineer との曖昧さ

建築士受験資格: 十分条件 (学生にとっても大学にとっても)
(日本の建築系大学生が取得を希望する資格)

建築士資格の国際通用性

APECアーキテクト (オーストラリア、ニュージーランド)

技術士登録者：累計約10万名（1957年発足、2024年）

約45%が建設部門

（土質及び基礎、鋼構造及びコンクリート、都市及び地方計画、河川、砂防及び海岸・海洋、港湾及び空港、電力土木、道路、鉄道、トンネル、施工計画、施工設備及び積算、建設環境）

高度に進化した建築業における専門化された技術者の重要度の増加

architect と building engineer との職責の違いと独立性

architect 教育と building engineer 教育

architect 教育の国際通用性

UNESCO–UIA Charter of Architectural Education (1996)

日本の問題点 「全日制による建築の専門教育5年以上」と「カリキュラムの過半が教員と学生の対話を基本とした個人スタジオ課題による」

UNESCO-UIA Validation Council for Architectural EducationによるJABEEの認定 (2009, 2012)

UNESCO-UIA審査団からの改善事項

1. JABEEの学部および大学院の両方の基準に、UNESCO-UIA建築教育憲章が求める教育内容に沿ったものとするを明記すること。
2. 学部および大学院設計・計画系の6年間のUNESCO-UIA対応プログラムを審査する場合の審査チームの構成について、審査長は設計・計画系の実務者ないしは教育者とし、また学生審査員を審査チームの中に含めること。
3. 実地審査における審査の重点を、実施された教育の量や質ではなく、その教育の成果物の吟味・精査の方に置くこと。

architect 教育の本質的同等性の相互認証

CANBERRA ACCORD (2008締結、2010発効)

CANBERRA ACCORDへのJABEE加盟

(2014暫定加盟、2016現地審査、2019正式加盟)

JABEEの認定制度とのすり合わせ

UNESCO-UIA建築教育憲章の教育の目標16項目を、JABEE
分野別要件に組み入れて対応

教育プログラムの本質的同等性に基づく、学生や単位の移動
資格システムにおけるプログラム修了生の同等的扱いの可能性

CANBERRA ACCORDにおける相互交流

Acreditadora Nacional de Programas de Arquitectura y Disciplinas del Espacio Habitable(ANPADEH): Mexico

Canadian Architectural Certification Board/Conseil canadien de certification en architecture (CACB-CCCA): Canada

The Hong Kong Institute of Architects (HKIA): Hong Kong

Institute of Engineering Education Taiwan (IEET): Taiwan

JABEE (Accreditation organization of Japan): Japan

Korea Architectural Accrediting Board (KAAB): Korea

National Architectural Accrediting Board (NAAB): USA

National Board of Architectural Accreditation (NBAA): China

South African Council for the Architectural Profession (SACAP): South Africa

(provisional)

UNESCO-UIA Validation System for Architectural Education

architect 教育と building engineer 教育のさらなる
展開のために

建築士法改正（2018公布、2020施行）に伴う
建築士試験の受験資格の見直し、
実務経験の対象実務の見直し

製図試験の検討と実務経験の重視

女性エンジニア育成と
建築分野の人気向上を目指して

内閣府男女共同参画局による
理工系分野における女性の活躍推進

建築学部における多様性

建築関連分野との連携も